

あいち病害虫情報 最新情報

平成22年10月15日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

今後も気温は高い

名古屋気象台発表の1ヶ月予報(10月15日発表)によると、今後も気温は高い状況が続くようです。野菜類の軟腐病やハダニ類など気温が高いと発生しやすい病害虫に注意しましょう。

イチゴの病害虫

炭疽病の発生量は平年並ですが、気温が高い状況が続くと発生が多くなります。発病株は伝染源となるので、速やかに抜き取り適切に処分しましょう。

うどんこ病の発生量は平年並ですが、気温が低くなると発生が多くなるので、注意しましょう。

ハダニ類はここ数年発生がやや多い状況が続いています。発生が多いほ場では、天敵を導入する前に、天敵に影響の小さい農薬で防除を徹底しましょう。

野菜類、花き類の鱗翅目害虫

キャベツではオオタバコガの発生量がやや多い状況です。また、県内各地のフェロモントラップにおける誘殺数が、平年に比べ多くなっています。平年より気温が高く、オオタバコガの発生にとって好適な条件が今後も続くと見込まれるので、注意してください。

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は平年に比べやや多くなっています。卵塊や若齢幼虫が多く認められるほ場では、今後被害が広がる恐れがあります。幼虫の分散前に防除を実施しましょう。

露地野菜の病害

秋冬野菜における病気については、現在発生が多いものはありませんが、キャベツやハクサイの軟腐病やキャベツの黒腐病などは、激しい風雨後に発生が多くなります。また、気温が高めに推移すると発生が助長されるので、降雨後には特に注意しましょう。発生が予測される場合は、降雨の前後に銅水和剤など予防効果に優れた薬剤で防除しましょう。

ダイズのミナミアオカメムシ

ミナミアオカメムシは、1月の平均気温が5℃を超える地域で越冬します。多発生ほ場では、収穫前日数に気をつけて農薬で防除し、翌年の発生源を減らしましょう。

トマト黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミに注意！

トマト黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミの発生量が、キャベツや雑草など屋外の植物で多い状況が続いています。また、施設トマトで発生が多いほ場も確認しています。今後しばらくは、施設への侵入が懸念されますので、侵入防止及び防除を徹底しましょう。

問い合わせ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除グループ
TEL 0561-62-0085 FAX 0561-63-7820